

【3-2】日常生活支え合い実践事業

## 武生東公民館高齢者いきいきふれあい事業 (越前市)

### 基礎情報

実施地域	越前市東地区
実施主体	武生東公民館・東地区自治振興会
所在地	越前市府中一丁目 13-15
代表者	館長 永田 紘一 会長 谷口 武男



### 平成23年度の事業概要

引きこもりがちな高齢者や障害を持つ人が、安全に公民館施設を利用することを可能とし、公民館や地域の催し物に気軽に参加してふれあいの場を持つことができるようにする。

- ・玄関車椅子用スロープの上がり口にチャイムを設置して、職員が車椅子等の介添えができるようにした。
- ・トイレの利用を安全にするために、トイレ入り口通路の段差（1箇所）を解消し、手すり（3箇所）を設置した。
- ・登録制の学級を誰でも参加できる体制とし、ふれあいの場をふやした。

### 現在の活動状況

- ・これまでの高齢者学級をふれあい講座として、いろいろな体験・学習を実践している。
- ・公民館の1室を地区のサロンとして、広く利用してもらうための準備を進めている。
  - ① 第1講義室をサロンにする。
  - ② 図書をそろえたり、座り心地の良い椅子を設置するなど入りやすい雰囲気工夫している。
  - ③ 部屋をギャラリーとしても活用し、利用者を楽しんでもらう。
  - ④ 喫茶コーナーも設置の予定。
  - ⑤ 部屋のサロン化を、広報にて住民に周知。
- ・乳幼児のお母さん達にも、休息の場として利用してもらえるようになっている。

### 事業の実績、成果

- ・館内のバリアフリー化は、高齢の利用者に喜ばれている。
- ・サロンは本格的な利用はまだだが、くつろぎ空間としてすでに利用されている。  
(自主講座の後のおしゃべりや、地域事業の協力者の休憩の場として)
- ・地域の年賀状展を開催中。雛人形も飾り、季節を楽しんでもらっている。

### 工夫した点

- ・サロンは基本的に毎日利用可能
- ・地域住民の気軽な居場所として、くつろげる雰囲気とする
- ・時には、折り紙教室などミニ講座を開催する
- ・ギャラリーとして作品などの展示をして、出入りのしやすいイメージとした



### 事業の財源

平成23年度地域支え合い体制づくり事業補助金にて、トイレ入り口通路の段差解消や手すり設置等を整備。

平成24年度以降の施設の管理は、公民館が対応し、食糧費や講座の材料費などは自治振興会が負担。

### 課題

- ・次年度からの本格始動ということで、地域への周知・利用をよびかける。
- ・利用者が固定しすぎないように工夫すべきか
- ・地域のボランティアによる（交代制）利用者の見守りも必要かと思う
- ・元気なのに、外に出たがらない高齢者を呼び込む工夫

### 今後の目標

- ・高齢者の居場所として、健康長寿に役立つ場となること。
- ・世代の違う利用者の自然な交流の場となしてほしい。
- ・高齢者も自分にできる役割を実感できるようになると良い  
…子どもの見守りや若い母親の話し相手など
- ・自宅では核家族でも、地域では三世代同居のような場となることを期待する。

### 団体からのメッセージ



だれにでも利用していただけるサロンです。  
みんなとふれあいながら、あなたのペースでお過ごしください。  
気軽においでくださいね。

問合せ先：武生東公民館

(TEL : 0778-23-4763 FAX : 0778-23-6546 )